

平成31年度学校経営計画書及び学校評価計画書

石川県立内灘高等学校

校長 山口 文彦

1 教育目標

- ①自主性、創造性に富み、何事にも意欲的な人材を育成する。
- ②規則正しい学校生活を送り、確かな学力を身につける。
- ③責任とモラルを重んじ、他者を思いやる心豊かな人間を育てる。
- ④ふるさとに誇りを持ち、積極的に地域社会に貢献する人間を育てる。

2 中・長期的目標

地域から信頼され、必要とされる学校を目指す。

(1) 学校の現状

- ①学校全体に落ち着きが見られるようになったが、一人ひとりの生徒に適切な対応をする必要がある。
- ②学校設定科目「内灘ベーシック」で学び直しをおこない、基礎学力の定着をさせることで自己肯定感を育成している。
- ③生徒の進路実現に向けて、生徒一人ひとりの適性を把握し、早期に進路意識に目覚める手だてを工夫する必要がある。
- ④地域社会との連携・協働を図った教育活動を推進し、地域社会から信頼され、必要とされる学校となるように努力する必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①挨拶の励行を実践し、基本的な生活習慣を確立させ、向上心を持った生徒を育成する。
- ②計画的な進路指導と生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導で将来に夢や希望を持つ生徒を育成する。また、保育、看護、介護などの体験をさせることで福祉系マインドを育て、進路実現につなげる。
- ③部活動や課外活動に積極的に参加し、豊かな人間関係を築いていける生徒を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ①日常的なOJTを効果的に実施し、教員としての責任感を高める。また教育相談の研修を通して生徒一人ひとりの実態に即した指導を心がける。
- ②基礎基本の定着を第一とし、必要に応じて発展的学習内容を施す授業の工夫に努める。
- ③進路指導に関する研究を深め、生徒一人ひとりに応じた指導法を開発し、早期の進路意識醸成に努める。
- ④ワークライフバランスやタイムマネジメントを意識して、効率的な業務遂行に努める。
- ⑤PTAや地域社会、同窓会などとの連携強化に努める。

3 今年度の重点目標

- ①生徒一人ひとりの実態把握を通して、基本的な生活習慣の確立を図る。
- ②生徒の基礎学力定着に向けたICTの効果的活用法やアクティブ・ラーニングの視点に立った授業法などを学年や教科で共有し、授業力向上を図る。
- ③最新の進路情報の提供や同窓会との積極的連携により、社会人としての心構えを学び、早期から進路意識の高揚を図る。
- ④地域から信頼され、必要とされる学校となるために、地域行事に積極的に参画し、地域防災にも貢献する態度を養う。